

図書館だより



no.228

2021(令和3)年1月19日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Te1 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fcs.ed.jp/>



図書特別整理期間のお知らせ

令和3年2月16日(火)~2月25日(木)

蔵書点検のため図書館を休館します。本の返却は「返却ポスト」をご利用いただけます。

ホームページのリニューアルのお知らせ

1月から福島県立図書館のホームページがリニューアルしました。それに伴い、図書館ホームページのURLが変更になりました。ブックマークをしている方などはURLの変更をお願いします。

新 URL:<https://www.library.fcs.ed.jp/>

館内設備のご案内

インターネット予約機

インターネット予約機では、「利用カード」を使って、インターネットコーナーの予約を行うことができます。カウンターでの申込は不要となります。

「利用カード」をお持ちでない方は、「利用申込書」にお名前を記入し、貸出・登録カウンターにお持ちください。

蔵書検索機

図書館内のOPAC(蔵書検索機)がリニューアルしました。また、本をより素早く探せるように、館内各コーナーに設置しています。

図書除菌機

借りた本を除菌して安心してご利用ください。開館時間中はどなたでもご利用いただくことができます。一度に最大6冊まで入れることができます。

コロナウイルス 感染拡大防止のために

- ・咳エチケットや手洗いの励行にご協力ください。
- ・マスクの着用をお願いします。
- 入館の際は、「アルコール消毒液」で手指消毒を行ってください。
- ・館内では、人との間隔を2メートル程度とっていただくようご協力ください。
- ・館内での長時間の滞在はお控えください。
- ・館内での食事はできません。
- ・風邪のような症状がみられる場合は、ご利用をご遠慮ください。
- ・今後の状況により必要な措置をとることがありますのでご了承ください。
- ・来館が不安な方は資料宅配サービス(有料)等をご利用ください。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『日本のお弁当文化 知恵と美意識の小宇宙』
権代 美重子／著 法政大学出版局 2020.4
383.81/ロミ204

なかなか外食がしにくい昨今、手作りやテイクアウトなど、お弁当を利用するようになった方も多いのではないのでしょうか。冷めてもおいしく、栄養のバランスもよく、見た目もきれいな現在のお弁当が、いかに成立していったのか、その歴史について書かれています。労働や戦闘の必須アイテムとして、花見や観劇、旅行など娯楽のお供に、茶道と結びついた洗練された文化として。海外でも“BENTO”として通用する、もはや日本の食文化を代表する存在としての、お弁当の深さに驚く1冊です。

『電柱マニア』 須賀 亮行／著、オーム社／編
オーム社 2020.9 544.15/効209

電柱と電信柱、実は違うものだってご存じですか？本書では「電柱マニア」の著者が、電柱の歴史から柱上設備、電柱番号札の見分け方まで、電柱に関する幅広い知識を解説しています。

電気は私たちの生活に欠かすことができないものです。その電気を運ぶ電柱。無電柱化が推進されている昨今ですが、日本にはまだまだたくさんの電柱があります。いつもの通り道にある電柱をじっくり観察してみたいくなる1冊です。

『世界の民芸玩具 日本玩具博物館コレクション』
尾崎 織女／著、高見知香／写真 大福書林 2020.9
759.9/ア7209

玩具を通して、世界中の文化を覗いてみませんか。本書は、兵庫県姫路市にある日本玩具博物館が所蔵する世界の民芸玩具を、写真と解説付きで紹介しています。これらの民族玩具は、子どもの遊び道具という範疇を超えて、民族色や地域色が鮮やかに表れた手工芸品としての魅力を持っています。バナナの葉で作られたキリンの玩具や、美しい花文様が描かれた機関車の玩具などの、世界各地のユニークな玩具をご覧ください。

児童・児童図書研究

『はずれ者が進化をつくる 生き物をめぐる個性の秘密』 稲垣栄洋／著 筑摩書房 2020.6 467/イ

自然界は多様性にあふれていて、個性に満ちています。実は、私たち人間は、この複雑で多様な世界を、ありのままには理解することが苦手です。そのため本来バラバラなものを、単純化し、境界をひいて区別し、整理することによって、理解しようとしています。本来、平均的な生きものも、普通も存在しないのです。生き物たちのとってきた生存戦略は、私たちに改めて生きるということを考えるヒントを教えてください。

雑誌・新聞

激動の2020年から2021年へとバトンが渡されました。2021年はどのような年になるのでしょうか？関連記事が掲載された雑誌を紹介します。

『Newsweek』第36巻第1号、通巻1724号、
2020.12.29/2021.1.5 新春合併号 Z/051/N11

特集：ISSUES 2021

『サンデー毎日』第100巻第1号、通巻5641号、
2021.1.3・10日合併号 Z/051/S18

特集：2021年大予測

『エコノミスト』

第98巻第49号、通巻4680号、2020.12.22日号
Z/330.5/E1

特集：日本経済総予測2021

第99巻第1号、通巻4681号、2020.12.29・2021.1.5
日合併号 Z/330.5/E1

特集：世界経済総予測2021

『週刊ダイヤモンド』第109巻1号、通巻4857号、
2020.12.26・2021.1.2日新年合併特大号
Z/330.5/S7

特集：2021 総予測

『週刊東洋経済』第6961号、2020.12.26-2021.1.2
新春合併特大号 Z/330.5/T4

特集：2021 大予測

地域

『ふらここの涙 九年目のふくしま浜通り』
みうらひろこ／著 コールサック社 2020.3
LS911.5/M12/7

「ふらここ」とはブランコのことです。冒頭の詩は、原発事故後、浪江町の小学校に残されたブランコの視点からうたっています。浪江町に住んでいたみうらさんは、震災後、避難生活を余儀なくされました。原発事故に対する深い悲しみややるせなさが感じられる詩から、お孫さんと過ごすみうらさんの日常をうたった、どこか暖かさが感じられる詩まで、読み応えのある詩集になっています。

『小学5年生がかいた ざんねん いがい ゆかいな妖怪事典』 関本 創／文・絵 講談社 2020.11
LA388.1/S3/1

会津美里町の小学5年生、関本創（あらた）君が紹介文やイラストすべて自分で手掛けて出版した本です。全国放送のテレビ番組でも紹介され、関本君自身が県庁で内堀知事へも出版報告したことで地元メディアでも注目されました。大人世代にお馴染みの昔ながらの妖怪から、今どきのあまり知られていない妖怪までオールカラーで紹介。関本君の描くゆかいな世界をぜひ親子で楽しんでください。